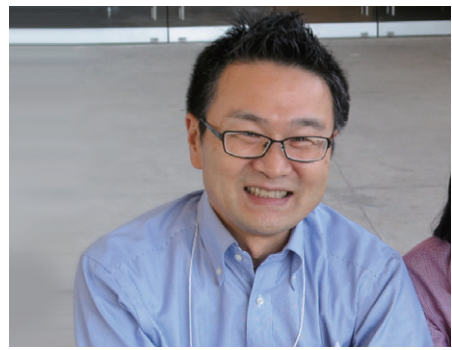


研究者
紹介

私の研究

産業技術史資料情報センター／理工学研究部

かめい おさむ
亀井 修 参事



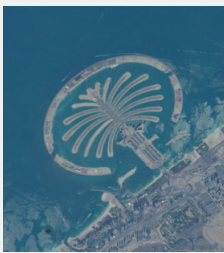
国立科学博物館

産業技術史資料情報センター／理工学研究部

『人類の時代と科学技術を考える』

●人類の時代

人類が地質学的年代を超えて地上に痕跡を残すようになった時代をヒトの時代（アントロポセン、Anthropocene）と呼びます。2000年頃にノーベル賞学者のPaul Jozef Crutzenによって提案されました。彼は、科学技術の起こした問題は科学技術で解決する必要があると指摘しています。



パーム・ジュメイラ
【出典：NASA、2009】

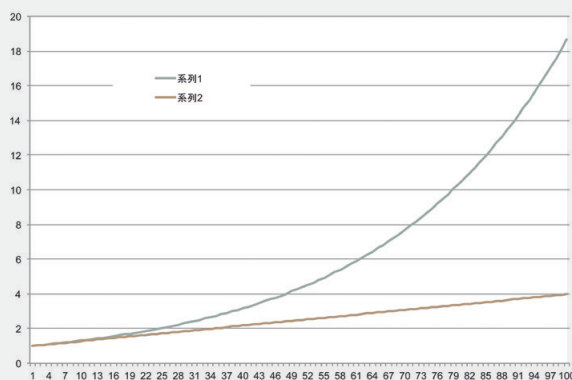
はじまりは、ダムなど大規模土木工事や大型農業によるここ50年、工業化が著しい300年前から、あるいは約1万年前の農耕から、いやいや石器時代(?)に大型動物を食べ尽くしたところから、



古代の農業
【出典：Wikimedia、2014.8.9】

と幅があります。

1年間で3パーセント成長するグラフを示しました。系列2の直線のように穏やかにのびていくイメージがありますが、



1年間に3パーセント成長の意味するもの

実際は系列1の曲線のように100年後には約20倍となります。現在の人類の活動のグラフはこれより急峻です。

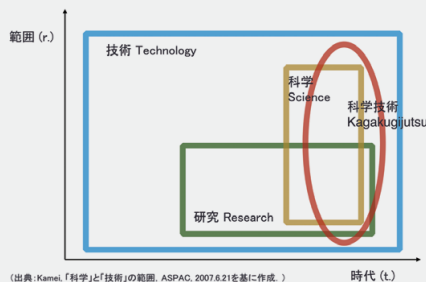
●技術と科学

「技術」は、人類が生存していくために必要な技や知識の総体と定義されます。仮説・検証・公開・反証可能などの特性をもつ「科学」は、切れ味の鋭い道具として、技術の拡散や高度化を著しく加速しています。

●日本の科学技術

産業技術史資料情報センターでは、産業技術史資料の所在調査、技術の系統化調査、重要科学技術史資料（未来技術遺産）の登録などの活動を行っています。

<http://sts.kahaku.go.jp/> をご覧ください。



技術と科学がカバーする範囲のイメージ
【出典：Kamei, 「科学」と「技術」の範囲, ASPAC, 2007.6.21を基に作成。】



ウォークマン
【出典：未来技術遺産第00109号、2013】

研究者に聞いてみました！

1) 専門は何ですか？

技術史。人類の「これまで」と「これから」を考えるための研究をしています。

2) 研究者になろうと思ったきっかけは？

街ができ、ものが増え、身の回りがどんどんきれいになり、便利になっていく時代に育ちました。いつか自分も未来を作る科学技術に参加したいといったわくわくした気

持ちを覚えています。

3) 最近の研究活動で、最も興味深かった出来事は何ですか？

世界を変える発明・発見は同時・多発ということを実感できたことです。エジソンで有名な電球も多くの国の博物館でそれぞれの国の発明であることが示されています。

4) 研究者になりたい方に一言アドバイスを！

不思議は身近にあふれています。事実を正確に記述し、その分野のお作法やお約束を

身につけ、あなたの視点を加え、こくと切れ味のある成果をめざしてください。

